

# 第36回「みんなの集い」報告会<記録>

令和6年3月15日（金）14:00～15:30  
南知多町役場 2階 講義室

南知多町女性団体連絡協議会（女団連）が、2月8日（木）に「みんなの集い」を開催しました。そこで参加された皆様からいただいたご意見を

① 第36回「みんなの集い」おしゃべりタイム2 模造紙書き起こし

② 第36回「みんなの集い」まとめの発表 ボイス記録

にまとめ、お届けしました。

そして、今回は、3月15日（金）に、会長と代表らで南知多町当局へ報告する機会をいただきました。町からは、町長さんほか5名の課室長さんにご参加いただきました。

今回の報告会では、女団連として3つの項目に内容を絞って報告しました。以下にその概要を紹介します。



## (1) 移動手段に関すること

（依然として利用に不便さを感じている人が多い実態に対するの応答）

- ・令和3年度から路線改訂をさせていただきました。海っこバスに対する住民のご意見と、町の財政状況をふまえて、知多バスが撤退することで、なくなってしまう部分をカバーするために今回の路線改訂や料金改定をしました。
- ・今回は、特に子育て世帯に重点的に、無料化と時間調整に努めました。
- ・今後は、お年寄りが利用しやすくなるための「デマンド交通」（地域とバス停を結ぶ足として自家用車を使った移動方法）や料金についても検討をしていきたいと思っています。

以下に続く



## (2) 買い物事情について

(近くに歩いていけるスーパーなどがなくなったことで、自家用車を利用できない人にとっては、早急な対応が必要になっていることへの意見交換)

- ・移動スーパーの実態を把握すること重要なこと
- ・営利目的の業者だと難しいのかもしれませんが。
- ・地域のコミュニティーが利用者を取りまとめることができれば、町としても調整が可能になるのでは。
- ・利益が上がれば、業者も動く。利益の上がない地域の状況をどう地域力と公共力が協働してフォローしていくかが、課題になってきます。
- ・公民館等の公共の場所を利用する仕組みづくりが有効では。
- ・住民のためになることであれば、公共の施設をすることも可能である。
- ・伊勢神宮のおかげ横丁のように買い物ができる場所が町にできるといい。
- ・商売をする側からは、人が集まってくれる情報があれば、それだけで、商売は成り立ちます。
- ・人集め、場所、情報が整えば、業者も乗ってくるかもしれません。

以下に続く



### (3) いざというときのための安全な地域づくりについて

(防災知識の共有、具体的な想定をした訓練、インフラ整備と備蓄等の対策の早期実施を望んでいることへの応答)

- ・防災に関する情報や知識だけなら、広報で毎号々々、コーナーをつくって掲載しています。防災関係の知識としてもかなりの情報量なると考えられますので、ぜひご利用ください。
- ・地域活動に、女性が入っているのは少ないのが現実です。これは、地域の弱点だと思っています。
- ・女性をどう地域活動に誘い出すかは、各地域で工夫してください。
- ・篠島では漁協婦人が、大井では「女性の会」が活躍していると聞きます。
- ・内海の吹越区の名簿に防災担当として2名の女性の名前が加わりました。
- ・地域ごとに特色があると思いますので、地域ごとにいざというときのための具体的な対策を講じる必要があると思います。
- ・ぜひ、男性が女性を組織の中に引き込む努力をしてほしいと思います。
- ・町の防災事情の公開することも必要だと思います。現在、町の職員は、160人ほどいますが、災害が起きた時間によっては、ここに集まれる職員は、60人ほどになってしまいます。
- ・危機を知ってもらうことも大事なことでと思います。役場は、いざというときには役に立たないというぐらいの心構えが必要です。
- ・防災の心得として、とにかく3日間は、自分の家で何とかする、そして、4日目ぐらいになったら、他に支援を求めに行く、というぐらいの心構えが必要だと聞いています。
- ・仮に町民の3分の1が、そういう動きをしてくれたら、町としては、備蓄の面で余裕ができることとなります。一人一人が意識をもつためにどうしたらよいか。それが、防災の一丁目一番地だと思うのです。

以上

各項目に対して、町長さんをはじめ、関係の課室長さん方から、役場の立場で、丁寧に応答していただきました。

和やかなうちにも町政についての理解を深める有意義な報告会になりました。年度末のお忙しい中、貴重な時間を割いてご参加いただいた、南知多町当局の皆様には、つつしんで感謝申し上げます。